



福祉用具 ヒヤリハット特集【外出編】

介護ショップらくだ
TEL:03-5762-8568

寒い冬が終了し春が訪れ暖かい季節となりました。

徐々に外出頻度が多くなるため、より屋外での事故に注意する必要があります。

そこで今回は外出時によく使用する福祉用具のヒヤリハット事例をご紹介します。

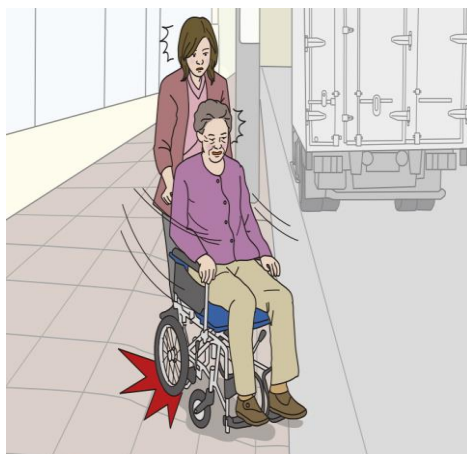
外出時に使用する福祉用具事ヒヤリハット事例

歩行補助杖



段差を越える際に四点杖の脚が1箇所しか段差を越えておらず傾きが生じ転倒しそうになった。

車いす



歩道に傾斜がついていたが、傾斜に気づくのが遅れたために、車道へ流されてしまった。

歩行器



ブレーキをかけずに座ろうとした際、歩行器が動きバランスを崩した。

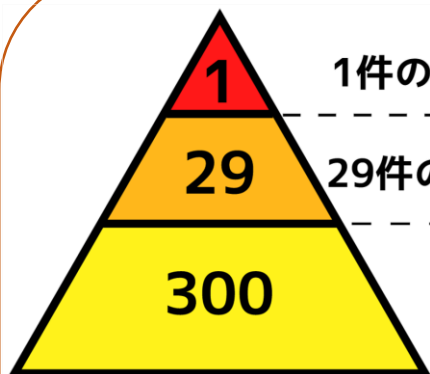
【参考資料：厚生労働省 2019年ヒヤリハット事例集】

厚生労働省がヒヤリハット事例集を公表しております

厚生労働省が公表している『ヒヤリハット事例集』では、他の貸与品目についてのヒヤリハット事例も掲載されております。
ヒヤリハット要因も記載されており、事故予防の参考になります。



ヒヤリハット予防は重大事故の予防につながります



1件の重大な事故・災害

29件の軽微な事故・災害

300件のヒヤリ・ハット

ハインリッヒの法則とは、重大事故の裏に潜むヒヤリハットを把握する重要性を説いた法則です。

1件の重大事故の背景には29件の軽微な事故・災害、300件のヒヤリハットが潜んでいると言われております。

当初労働災害における考え方として広まりましたが現在は製造や建設、医療や行政などさまざまな業界に通じる考え方として広まっています。

(ハインリッヒの法則)

1件の重大災害には300件のヒヤリハットがあるとされていますが、逆に言えばヒヤリハットを見つけきれなければ、重大災害は防げないということです。
ご利用中の福祉用具でヒヤリハットが発生した際は、機能のご説明や商品の見直しを提案させていただきます。お気軽にご相談ください。

